

備前市事務事業評価表

事務事業名	訪問看護事業		コード	担当課係	訪問看護ステーション
			02-02-07-06	担当者	谷口和弘
事業実施期間	平成9年～		電話	63-9302	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	病院事業			
	施策	備前病院			

事業について	
目的	在宅療養者の家庭における療養生活を支援し、その心身の機能の維持回復を図る。
対象 (誰のために)	疾病、負傷により居宅で継続して療養を受ける状態にある者で、主治医が訪問看護を必要と認められた者。また、介護保険の要支援・要介護認定を受けた者で、介護支援専門員が必要と認められた者。
内容	病状の観察、医療的処置の実施及び指導。看護及び介護技術の実施と相談及び指導。栄養及び食事療法に関する相談及び指導。リハビリテーションの実施と相談及び指導。介護用品の紹介及び使用方法の指導。生活環境の調整及び指導。主治医への連絡調整及び報告。その他、医師の指示による処置及び介護に関する相談。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
年間利用延人数	2,421 件		
	479 人		
	1,896 時間		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	989	国庫補助金等	0	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	14,880	受益者負担	59	人件費		受益者負担	
		市債	0			市債		
合計	15,869	一般財源等	15,810	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	3.15	人		人
結果指標名	訪問看護サービス			
結果指標量	2,421			
単位	件			
対前年比	—		0.00%	
事業費	15,869,000	円		円
単位当たりコスト①	6,555	円		円
結果指標名	訪問看護サービス			
結果指標量	1,896			
単位	時間			
対前年比	—		0.00%	
事業費	15,869,000	円		円
単位当たりコスト②	8,370	円		円

事業の成果			
成果指標名	実訪問看護時間	式又は説明	事業の性質上、成果を数字で現せない事業である。また、利用者のサービスに対する満足度を指標とする手段も、サービスの内容（看護の方法）は主治医が決めるもので、これも有効な指標とはいえない。よって1年間の実訪問看護時間を指標とした。3時間（1日の実訪問看護時間）×3人（看護師数）×230日（平均勤務日数）
	17年度		
成果指標量	1,869		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	2,070	到達目標年度	H19年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：介護保険法
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	市民参画度	

総合評価	
コメント	事業の目的・対象又は手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価の対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的にサービスを提供できるように検討することにより成果の向上が見込まれる。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	2,450件	結果指標量②	2,020時間
目標値	結果指標量		2,020時間

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	効率的（移動時間が短くてすむ）なサービス受給者の組み合わせを組む	平成18年度	訪問看護サービス受給者の増加 収入の増加

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。